

# 夫の急死で社長の道へ

シリーズ

## 女性経営者



「女から魚が買えるか。」から「市場で店をやつてみの一言が一番つらかった」なにか」と誘いを受け、乾日光水産の大竹映子（お物問屋を脱サラして一九七〇年に創業した。おたけ・えいこ）社長は、二十七年前、前社長だった夫の死を境に主婦から社長になる決断をした。波乱に満ちた当時の思い出が、鮮明によみがえる。

### ◆波乱の創業時

創業当初は波乱続きだった夫の死を境に主婦から社長になる決断をした。波乱に満ちた当時の思い出が、鮮明によみがえる。

日光水産は、埼玉県中央市場（さいたま市桜区）内にある魚卸売業者。東京都足立区の足立市場から新鮮な魚を仕入れ、県内のスーパーや寿司屋、居酒屋などに販売するのが主な業務だ。

夫の紀重さんが、埼玉県中央市場の社長だった叔父

こそ二百万円近いが、当時五万円がやっとで、生活費すらまともに出ない日々が続いた。

「夫はしんが強く、やるべきことをきかずに、十年後、必死に覚えていたという紀

八一年四月、紀重さんが化膿（かのう）性髄膜炎で突然倒れ、わずか一週間後に四十一歳の生涯を閉じた。「本人もさぞ悔しかったでしょうね」と大竹社長は振り返る。

「パートでは生活していけない。会社を継ぐしか道はなかった。会社は創業以来の危機を迎えていた。」



「慣れるのに10年かかった」と振り返る日光水産の大竹映子社長

### 【日光水産】

本社 さいたま市桜区桜田3-3-1、埼玉県中央市場内 ☎048(861)4577  
▽設立 72年10月  
（創業は70年7月）  
▽事業 魚卸売りの▽資本金 1000万円  
▽売上高 5億3000万円（07年9月期）  
▽社員数 10人  
（三宅芳樹 水曜日掲載）

# 埼玉経済

企業、団体商店街などの話題や情報をお寄せ下さい  
TEL 048・7995・9161 FAX 048・653・9040

# 品格と経営力の向上へ

シリーズ

## 女性経営者

男性主体の魚卸業界は思いで商談の時間を増やし、像以上に厳しかった。県中、魚の勉強も欠かさず、一番、市場自体も勢いを失って旬なものを仕入れるよう心掛けた。市場内の各店で売り上げたが伸び悩み、ついには向かいの大手業者が倒産に追い込まれた。

自分の番はいつ来るのだから。一層の不安に駆られたが、どんな状況でも決してあきらめなかった夫の姿を思い出し、「やれるところまでやってみよう」と辛抱強く店を続けた。

寒い日は熱いお茶を、暑い日は冷たい麦茶を出すという、女性ならではの気遣い。それぞれの魚にとって旬

な時期はいつか、どう料理すれば一番おいしく食べられるか。魚の情報以外にも、客から経営に関しての相談を受ければ、「あなたのお店は、ここが強みだから、もっと生かすべき」「県がこういう支援制度をしている」とアドバイスするなど、市場に足を運んでくれた客にメリットとなる情報を提

供することで、リピーターを着実に増やした。社員には、一人ひとりの仕事を会社の売り上げと利益にどう、かかわっているかを説明。「自分が稼いだ分だけ頑張れば給料が上がるかを理解してもらえ」と、やる気を持たせた。こうした努力が実を結



サイタマ・レディース経営者クラブの総会であいさつする日光水産の大竹映子社長

び、会社を継いだときの約一・八倍にまで年商を増やした。

◆経営者クラブの会長に女性が経営者になること

の厳しさに直面し、苦境を乗り越えて来た。自らの経験から女性経営者の資質向上に役立てようと、昨年四月から女性経営者の異業種交流グループ「サイタマ・レディース経営者クラブ」の四代目会長に就任した。

「経営者にとって、実際にプラスになるクラブにし

幹部や中小企業診断士らを招き、子育て支援制度や融資制度、事業継承、人材育成など、経営と密接に関わるテーマでセミナーを開催。今年度は礼儀作法やマナー、あいさつの仕方など、経営者としての品格を高めるセミナーを計画している。「女性だからといって甘えは許されない。誰かが助けてくれると思っ

「サイタマ・レディース経営者クラブ」女性の経営者や幹部を対象に県が実施した「レディーストップ・スクール」の修了生が1987年、女性経営者の資質向上や経営力強化を目的に全国に先駆けて結成。現在82人の女性経営者が在籍。

謝の気持ちを忘れず、自分を高めていくこと。日々奮闘する女性経営者に激励の言葉を送る。

(三宅芳樹 水曜日掲載)

日光水産

## 大竹 映子社長 <下>

# 埼玉経済

企業、団体商店街などの話題や情報をお寄せ下さい  
TEL 048・7955・9161 FAX 048・653・9040